

第4回グリーンフラスコ環境教育フォーラム

～森は自然のホスピタル～

「アグロフォレストリーとコミュニティートレード開発のその後」

NPO 法人アルコイリスの草の根国際協力活動を通してみるペルー・アマゾンの生物多様性の現状と環境保全への取り組み

アマゾン川流域には豊かな生物多様性を誇る美しい熱帯雨林が広がっています。近年、この美しいアマゾンの森は、森林伐採が進むことによる環境破壊によって脅威にさらされています。第4回グリーンフラスコ環境教育フォーラムでは、ペルー・アマゾンを拠点に、アグロフォレストリー（林業と農業を組み合わせ、森林を育てながら同時に同じ場所で農作物の栽培を行うこと）と、アマゾンのハーブやナッツといった植物資源を利用したコミュニティートレード開発に取り組んでいるNPO 法人アルコイリスの行っている国際協力活動、そして活動を通して目にしたペルー・アマゾンの生物多様性の現状について報告いただきます。健やかな地球、健やかな社会について考える機会にしたいと考えています。ぜひご参加ください。

日時：2009年10月31日（土）13:30～16:30

参加費：1,000円（税込）※当日会場でお支払い下さい。

会場：ソフィアホール（自由が丘駅徒歩5分）

※グリーンフラスコ自由が丘店と同じ建物ソフィアビルです。

お申込み：グリーンフラスコ研究所 03-5731-1340 / baronhall@greenflask.com

【プログラム】

13:30～13:45	ごあいさつ ■ 生物多様性の確保に向けて～植物療法の立場から 林 真一郎（グリーンフラスコ株式会社 代表）
13:45～14:30	■ アルコイリスの国際協力活動でみた課題と取り組み 橘谷 エルナン（NPO 法人アルコイリス コミュニティートレード専門家） 昨年活動報告会后、15か月に渡るアグロフォレストリーとコミュニティートレードのプロジェクトを終え、これからの発展のため取り組むべき課題についてお話いただきます。
14:30～15:15	■ よい油と悪い油 眞部 信次（NPO 法人アルコイリス 理事） 体にとってよい油と悪い油というだけでなく、私たちが消費者の立場で選択できる生産地の環境や地域社会にとってもよい油と悪い油について考えます。
	（休憩）
15:30～16:30	■ アマゾンの芳香植物と生物多様性 大橋 則久（NPO 法人アルコイリス 代表理事） アルコイリスの精油や芳香蒸留水を用いた新規プロジェクトを通じて、ペルー・アマゾンに生息する芳香植物の生物多様性についてお話いただきます。

*当日はグリーンフラスコ自由が丘店にて、インカインチョイルを使ったポップコーン試食会を開催！



◆講師プロフィール

橘谷 エルナン（NPO 法人アルコイリス コミュニティートレード専門家）
1977年ペルー・リマ市生まれ。サンマルコス国立大学獣医学科を卒業した後、新宿鍼灸柔整専門学校鍼灸学科を卒業。現在、日本伝統医療科学大学院大学の臨床鍼灸修士課程に通っている。勉強をしながら2003～2007年まで日本カムカム普及協会のペルーアマゾン国際協力専門員として活動し、2008年の後半からNPO法人アルコイリスのコミュニティートレード専門家として活動を始め、現在に至る。

眞部 信次（NPO 法人アルコイリス 理事）

1952年長野県生まれ。京都大学林産工学科卒。木材の真空乾燥技術を開発し、パルプ用材などの用途しかなかった低質広葉樹を高付加価値材に変身させた。また、米国よりレーザー彫刻技術を導入し、レーザー彫刻を施した木製小物を製造販売。2003年、アルコイリスプロジェクトの趣旨に賛同し設立に参加、現在に至る。

大橋 則久（NPO 法人アルコイリス 代表理事）

1966千葉県生まれ。立教大学英米文学科卒業。7年間の商社勤務（防衛関連部門）の後、望月と共にペルーで起業、アマゾン・アンデスの有用植物資源の調査・研究と日本への輸出販売を開始する。2003年、フィンドホーンでのエコビレッジ体験を経て、自然環境保全と地域経済活性化の両立を目指し、アルコイリスプロジェクトを立ち上げ、現在に至る。

NPO法人アルコイリスのサイト

<http://www.arcoiris.jp/>